



**「団地の未来プロジェクト」**  
**洋光台中央 広場オープニングセレモニー**  
(建築家 隈研吾氏デザイン監修)  
**のご案内**

独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)では、「団地の未来プロジェクト」(<http://danchinomirai.com/>)の一環として、ディレクターアーキテクトである建築家の隈研吾氏デザイン監修による大規模な広場リニューアル工事を実施しました。※

この度、当該工事が竣工いたしましたので、8月1日(水)AM9:30より、オープニングセレモニーを実施いたします。

当日は、ご参加いただいた皆様楽しく広場のスケール感を体感していただくため、プロジェクトディレクターである佐藤可士和氏デザインのテープで広場を囲んで皆でテープカットを行うことなどを予定しております。

なお、新たに生み出した2階部分の店舗には『クラフトマルシェゾーン』として、工芸作家の出店を図っていく方針です。また、11月24日(土)・25日(日)の2日間、全国からハンドメイドの雑貨、アクセサリ一等、個性溢れるクリエイターが集う『団地のマルシェ「洋光台クラフトマルシェ祭」』を開催予定です。

※この取り組みは、昭和45年にJR洋光台駅前に誕生したUR賃貸住宅「洋光台中央」の広場を、各界の有識者のアドバイスや街の人的ご意見を踏まえて、駅前空間に回遊性を生み出し、また、人が集い、溜まること出来る賑わいの場とすることにより、団地を核とした洋光台エリア全体の活性化を目指すものです。

敬具

**開催概要**

■日 時: 2018年8月1日(水) 9:30~11:00 (受付開始/9:00~)

■会 場: UR賃貸住宅洋光台中央 広場

住所: 神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13

※駐車場はございません。お車でお越しの際は近隣の駐車場をご利用下さい。

■内 容: 9:30~10:15 竣工記念セレモニー  
(関係者ご挨拶・テープカット)

10:15~11:00 個別質疑応答

※個別取材をご希望の場合はお手数ですが事前にお申し付け下さい。

■挨拶: 建築家(団地の未来プロジェクト ディレクターアーキテクト) 隈 研 吾 氏  
クリエイティブディレクター(団地の未来プロジェクト プロジェクトディレクター) 佐藤 可士和 氏  
洋光台連合自治町内会 会長 <sup>みかみ いさお</sup> 三上 勇夫 氏  
横浜市技監兼建築局長 <sup>さかわ しんけん</sup> 坂和 伸賢 氏  
独立行政法人都市再生機構 理事長 <sup>なかしま まさひろ</sup> 中島 正弘

**【お問い合わせ先】**

●UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

神奈川県横浜エリア経営部 ストック活用計画課 (電話)045-682-1892

総務部 総務・法務課

(電話)03-5323-2555

「団地の未来プロジェクト」洋光台中央広場オープニングセレモニー  
ご出席確認用紙 [報道関係者限り]

■日時: 2018年8月1日(水)9:30~11:00(受付開始/9:00~)

■会場: UR 賃貸住宅洋光台中央 広場特設会場  
(神奈川県横浜市磯子区洋光台 3-13)

■主催: 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部



ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、ご希望をご記入のうえ、7月30日(月)までにFAXにて事務局までご返信くださいますようお願い申し上げます。

■FAX番号:

03-3571-5380

(いずれかにチェックをご記入ください)

ご出席

ご欠席

■貴社名: \_\_\_\_\_ ■部署名: \_\_\_\_\_

■ご芳名(人数): \_\_\_\_\_

■ご連絡先 TEL: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

■撮影  スチール  ムービー

■個別取材  希望する  希望しない

■備考欄  
(ご取材に関するご希望等ございましたらご記入ください)

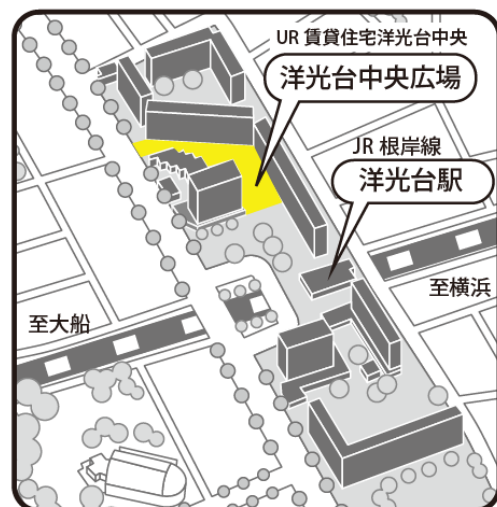
---

---

---

---

記者発表会当日連絡先  
団地の未来プロジェクト広報事務局  
共同ピーアール/前山(携帯)  
090-7490-0744



JR 根岸線洋光台駅徒歩1分  
※駐車場はございません。

## 【参考】

洋光台中央 広場の様子 改修前



洋光台中央 広場の様子 改修後



### 団地の未来プロジェクト



建築家の隈研吾氏を、新しいライフスタイルに適した建築・空間設計を創造する「ディレクターアーキテクト」として、またクリエイティブディレクターの佐藤可士和氏を、人が集まって住む団地だからこそ実現できる新しい住まい方と地域のあり方を提示していく「プロジェクトディレクター」として迎え入れ、横浜市磯子区の洋光台団地をモデルケースとして、継続的に団地の価値を上げていくことで、より良い社会づくりに貢献していく画期的なプロジェクトです。